

# どうなの

平成16年度  
第3号  
2005・2・22  
吉田町 郷野地区  
コミュニティ  
推進協議会

## 力あわせて地域づくり

郷野地区コミュニティ  
推進協議会 会長 大日共二

立春が過ぎてまだまだ寒い日が続きま  
す。郷野の皆様にはますますご健勝の  
こととお喜び申し上げます。  
立派なコミュニティ活動にあたり何か  
と協力いただき有難うございます。

昨年三月安芸高田市が誕生して一年  
を迎えようとしております。郷野コミ  
ュニティでは特色ある地域づくりとし  
て『水辺の集校』を活用した地域づく  
りを進めており、郷野小学校児童、地  
域の夢と意見を取り入れて出来た水辺  
の集校です。

健康づくりのウォーキング、怪スポ  
ーツ等、可愛川の自然に親しみながら  
みんなで楽しもうと取り組まれている環境  
づくりに取り組んでおります。二歳を焼  
いて川の水をきれいにしてしよう」こと  
も

## 安芸高田市民フォーラム 開催される

竹炭には脱臭、調湿、水質改善に大きな  
効果があり、さまざまな用途に使われてお  
ります。今後は郷野の各家庭、身近の業  
の浄化に活用できればと考えております。  
竹炭に興味のある方は是非参加して体験  
してください。お待ちしております。

達の発想か  
ら昨年の五  
月から竹炭  
焚きを開始  
しました。  
皆さんの協  
力と、リー  
ダー役を務  
めていたた  
いた水戸さん  
の巧みな技  
術を生かし  
て十月には  
満足のでき  
る竹炭がで  
きあがりま  
した。十一  
月には郷野  
小五年生の  
皆さんが竹  
炭を使って  
可愛川の  
水質につい  
て体験学  
習を実施す  
ることがで  
きました。



平成17年2月11日(金) 13:00~17:00  
甲田町のミューズに於いて350名の参加者の  
もと開催されました。

市民みんなでつくる「あきたかた物語」と題し各  
町の地域振興会 12 団体と自治組織以外の団体から  
3 団体が、それぞれ現在取り組んでいる地域づくり  
を8分の持ち時間で発表されました。

最初の発表が我が郷野地区で、広瀬正三氏と郷野  
小学校児童6名が環境浄化をテーマに「竹炭で可愛  
川の水質を浄化したら」との児童の発想で活動展開  
して今日に至る経緯を広瀬氏が説明され、児童は水  
質実験などを通して知った色々な事を、こどもの視  
点での率直な発表は 客員パネラーの先生方に感動  
を与えたようです。

どこの地域もその地域の特殊性を生かした活動  
を目指されているようでしたが、ある発言者は「振  
興会は自発的団体であるので、行政から特色ある活  
動等を早くと求めず、長いスタンスで育ててほし  
い」とも・・・

『地域は自分たちで作る』住民の意識改革を！

みつやの里・郷野女子バレーボールクラブ  
代表指導者 運沼剛生

郷野女子バレーボールクラブは小学生児童を対象に、六人制バレーボ  
ールを軸に活動しており、今年で二十年になります。  
現在、会員は十四名、育成者や保護者の方々に助けていただいで郷野  
の子どもを育てようと、火曜日には午後四時半、土曜日は午後一時半より  
二時間の練習を行っております。  
子どもたちの姿が消え、声が聞こえなくなったら地域は元気がなくな  
ります。応援して下さい。

## 郷野少年野球クラブ

郷野少年野球クラブは「地域のリーダーは地域で  
育てる」というスポーツ少年団の理念に基づき、長  
屋グラウンドで週二回の定期練習を頑張っています。  
昨年は選手から暮われていた初代OB監督の森  
田敦志監督(安芸高田市職員・長屋・享年・九十九歳)  
が突然事故で亡くなるという悲しい出来事がありま  
した。

今年からは二代目OB監督として益原辰弥監督  
(安芸高田市職員・二十九歳)が森田監督の跡を継  
いでいくことになりました。今後も少年野球のOBに  
監督をバトンタッチして行けるよう、伝統あるク  
ラブ運営を目指して奮闘して行きます。

青少年の健全な肉体・精神を育む地域のリーダー  
として、少年野球選手OBの皆さんの参加をお待ち  
しています。



## ソフトバレーボールチーム (郷野コスモス)

体育部のサークルとして、ス  
タートした郷野コスモスです。  
現在では、みつやの里スポー  
ツクラブの会員として活動して  
います。毎週土曜日夜8時より、郷野  
小体育館で楽しんでいます。やわ  
らかくて大きめのボールなので  
手が痛くなることはありません。

コート内は4人でプレーしま  
すからいつも3チーム位で交代  
しながら試合をします。練習前の  
ストレッチも体が伸びて気持ち  
いいですよ。年に2・3回の小旅  
行も待ち遠しいことです。是非、  
覗いてみてください。そして郷野  
コミュニティのソフトバレー大  
会にも参加してください。

## 一〇〇万都市(広島)との交流会報告

郷野老人クラブ連合会 (文京 出口)

昨年の秋 郷野老人会、他団体有志の方の  
ご協力により都市の方々との交流会を三回行  
いました。田舎の「みりの秋」を体験して  
もらいたいと、平成九年の「M500」一  
元 就村でご縁を得た人、また他のイベントでお  
逢いし今日まで交流のある人に案内したとこ  
ろ多数の参加がありました。  
十一月七日(日) 参加者四十四名(広島  
市二十名、名古屋・大阪・神戸より六名、地  
元十八名) 柿もぎ、餅つき、石臼できな粉挽  
き、草履作りなど。  
十一月十四日(日) 参加者六十五名(舟入  
小学校児童、PTA五十六名、ふれあい号2  
台運行) 午前中は星ヶ城登山、昼食は郷野コミュニ  
ティ集会所で新米  
を炊き毛元の産物(お茶、豆腐など)を紹介し、美味でもらいま  
した。田舎のお米(ご飯)はおいしいとビックリ、またお土産に  
持ち頂いた品々も食卓に並び楽しい交歓会となりました。昼食後柿も  
ぎ、竹細工、特に石臼挽きは子ども達に大人気で賑やかでした。  
後日届いた札状に、子ども達には大変貴重な体験であったと感謝の  
文面でした。

今回の行事には近隣の町の老人会有志、また市の高齢者福祉課の方  
には休目にも関わらず、ご協力を頂きました。  
生甲斐は最高の福祉である。私たちは会員相互の親睦を深め、  
地域の振興に寄与することを生甲斐とする。



山頂の秋  
城心は...  
里の秋...  
山頂の秋  
城心は...  
里の秋...  
山頂の秋  
城心は...  
里の秋...

ワイワイ  
ガヤガヤと  
石臼の音も  
聞こえぬ  
賑やかさ...

友 遠方より来る  
また 楽しからずや  
一〇〇万都市  
名古屋・大阪・神戸  
からの参加者も  
小春日和に恵まれて  
お日頃の温もりと  
わらの匂いをお土産に

## 漢詩への誘い (二)

富士山 石川丈山 作

仙客来たり遊ぶ 雲外の嶽  
神竜棲み老ゆ 洞中の淵  
雪は純素の如く 輝は松の如し  
白扇倒しまに懸る 東海の天  
仙人が遊び神童が接んでいたという、華峰富士山はらうど白絹の  
様なうすい雪をかぶり、白扇をかきまにした様に秀麗雄大に東海  
の天にそびえている。

作者は江戸初期の詩人、京都一乗寺に詩仙堂を作り住む  
これは現存し、観光ルートにもなっている。

華峰吟詠会 稽古日 《会員募集》  
毎週(第一・三) 木曜日 夜八時~十時 (星城支那)  
毎週(第二・四) 土曜日 昼一時半~三時半 (星城支那)